

特別国民体育大会冬季大会スキー競技会の本県開催決定について

1 本県開催決定までの経緯

- 令和2年10月21日 公益財団法人日本スポーツ協会及び文部科学省から、令和5年（2023年）の特別国民体育大会冬季大会スキー競技会について、岩手県（県、県教育委員会及び県体育協会）に対して開催要請
- 11月30日 公益財団法人日本スポーツ協会及び文部科学省に対し、3者連名（県、県教育委員会及び県体育協会）で開催受諾書を提出
- 12月25日 公益財団法人日本スポーツ協会の泉正文（いずみまさふみ）副会長が来県し、岩手県（県、県教育委員会及び県体育協会）に対して開催決定書を交付

2 スキー競技会の概要

開催時期	令和5（2023）年2月中旬頃
大会名称	特別国民体育大会冬季大会スキー競技会
会期	競技会4日間（初日に開始式）
会場	八幡平市（矢神飛躍台、田山クロスカントリーコース、安比高原スキー場）
実施競技	ジャイアントスラローム、スペシャルジャンプ、クロスカントリー、コンバインド
参加資格	開催年度において中学3年生以上の選手
参加人員	選手・監督等：約1,800人

〔国民体育大会本大会及び冬季大会の開催状況〕

大会		本大会	冬季大会		
年	回		スキー	スケート	アイスホッケー
令和2（2020）年	75	—	富山	青森	
令和3（2021）年	76	三重	秋田（中止）	岐阜・愛知	愛知
令和4（2022）年	77	栃木	秋田	栃木	
令和5（2023）年	特別	鹿児島	岩手	未定	未定

〔スキー競技会開催状況〕

※ R3秋田大会は中止

開催年	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
北海道				●							●									●				
岩手県					●										●									●
秋田県								●			●	●										※	●	
山形県				●										●										
群馬県						●									●									
新潟県			●						●										●					
富山県	●																				●			
長野県		●							●									●						
岐阜県												●												

3 今後の主なスケジュール

令和3（2021）年	～7月	実行委員会設立に向けた関係団体との調整
	8月	岩手県実行委員会設立
令和4（2022）年	2月	第71回全国高等学校スキー大会（八幡平市）開催
令和5（2023）年	2月	特別国民体育大会冬季大会スキー競技会開催

〔参考1〕冬季国体の特徴

- 氷上のスケート・アイスホッケー競技会と雪上のスキー競技会の2会期で1月下旬から2月に行われている。
- 冬季競技の特性上、開催地となりうる都道府県は限られ、とりわけ2000年以降は開催地選定が難航し、特定の都道府県に開催が集中する状況も生じている。

〔スキー国体開催可能なジャンプ場を有している道県〕

ジャンプ場 北海道、岩手、秋田、山形、群馬、新潟、富山、長野、岐阜



令和2年2月開催のスキー競技会（富山県）の様子

〔参考2〕第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会（美の国あきた鹿角国体）の中止について

令和3年2月18日（木）から21日（日）までの間、秋田県鹿角市で開催を予定していた第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会について、2月1日（月）に日本スポーツ協会が臨時の国体委員会を開催し中止を決定。

○ 中止の理由（日本スポーツ協会通知）

- 会場となる鹿角市花輪スキー場は、国体スキー競技全種目の会場が集中しており、運営本部や待機所等において参加する選手や監督、運営関係者の3密を十分に回避することが困難。
- 選手団の宿泊について、宿泊施設の構造上個室が2割しかないため、選手等関係者が相部屋になることにより感染リスクが高まる状況。
- 医療体制について、鹿角市の受入可能病床数が2床と脆弱であるとともに、県の基幹病院において院内クラスターが発生するなど病床負担が増しており、選手等関係者に感染者又は感染疑い者が発生した場合の秋田県の医療体制に重大な懸念。
- 秋田県は、独自の「新型コロナウイルス感染警戒レベル」をレベル3に引き上げ、県民に感染者が多い地域との往來の自粛を強く要請している状況。秋田県としては、緊急事態宣言発出地域11都府県も含めた全国から多くの大会参加者を受け入れることが困難。
- 感染への不安から、ボランティアなどの競技会を運営するための協力員の確保が困難な状況。